

3 平和への思いを新たに

5/27

県立こころの医療センター敷地内にある慰霊碑の前で筑波海軍航空隊「慰霊の集い」が行われました。

式典には、元特攻隊員の遺族や自衛隊関係者などが参列し、黙とうの後に献花を行いました。陸上自衛隊勝田駐屯地施設学校音楽隊による追悼演奏では、目頭を押さえる参列者の姿も見られました。

参列者の皆さんは、英霊のご冥福を祈るとともに、平和への思いを新たにしました。



献花をする友部第二小学校児童の皆さん

4 廃材活用のジャンピングボードを寄贈いただきました

5/31

日東電気株式会社（茨城町）から岩間第二小学校へ、廃材を活用して作成されたジャンピングボード6台を寄贈いただきました。

同社の阿部太洋代表取締役社長は、SDGsの観点から、普段は処分されてしまうもので何かできないかと考えていたそうで、同社の持丸洋一次長が同校出身であったことが縁となり、今回の寄贈に至りました。ジャンピングボードは、ガラス繊維強化プラスチックという素材でできていて耐久性があります。

温かいご支援に感謝します。



(前列左から) 日東電気(株) 総務部 持丸次長、阿部社長、岩間第二小学校 小森校長、日東電気(株) 技術開発部 岩佐さん、同部 レイ・テック・タンさん



こんな出来事ありました

1

森づくりを目指して植樹

5/20

「カスミ共感創造の森 植樹祭」が愛宕山で開催され、約280名が参加しました。

主催者の株式会社カスミは、地球環境保全活動の一環として平成23年から愛宕山で森づくりに取り組み、この植樹祭を毎年開催しています。今回で第10回目ですが、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となりました。

当日はスギやヒノキ、コナラなど1,500本の苗木を山の斜面に植えました。大きく育つことを願っています。



植樹祭に参加した皆さん

2 オオキンケイギク駆除作業を実施しました

5/27

「かさま環境を考える会」など市民団体の皆さんと協働で、特定外来生物に指定されているオオキンケイギクの駆除を笠間東工業団地周辺など市内7か所で行いました。

オオキンケイギクは黄色い花を咲かせる外来種で、日本在来植物への悪影響が指摘されています。市では14年前から駆除作業を行っていて、市内の生育量は減少していますが、新たな生育地も確認されています。

これからも継続して活動をしていきます。



作業の様子（写真左下がオオキンケイギク）

7 チャリティー募金を スポーツ振興の力に

6/19

「BMW日本ゴルフツアー機構 森ビルカップ」の会場で行われたチャリティー募金100,483円を、笠間のスポーツ振興のために寄附いただきました。

同大会は今年、森ビルゴルフリゾート株式会社が運営する宍戸ヒルズカントリークラブでの開催20回目の節目を迎えました。20回の開催協力に対する市への感謝と、市内のスポーツ振興に役立ててほしいという思いから、今回ご寄附いただきました。

皆さんの温かいお気持ちに感謝します。



(左から) 山口市長、森ビル(株) 特任執行役員 兼 森ビルゴルフリゾート(株) 代表取締役 多田野敬さん

8 さまざまな学び方を

市内の学校では、さまざまな学び方を取り入れています。

岩間第三小学校をモデル校に、民間の学力向上システムを活用した放課後の学習塾が6月2日に開設され、「自分で将来を切り拓く力」などを養うための授業が行われました。岩間地区の小学校に通う4～6年生を対象に、月曜と金曜の放課後に年間80日間実施する予定です。

また、6月23日には岩間第三小学校においてキャリア教育の一環でラグビー体験が行われ、プロ選手たちと触れ合いました。授業参観として保護者も参加し、体験の様子を見学しました。

これからも、子どもたちへのより良い教育を目指していきます。



放課後の学習塾の様子



ラグビー体験に参加した皆さん (写真後列: 日立サンネクサス)

5 台湾と盛んに交流

笠間台湾交流事務所の開設から5年目を迎え、台湾との交流を継続して盛んに行っています。

6月4日・5日には、台湾行政院農糧署の皆さんが笠間栗ファクトリーや笠間クラインガルテン、道の駅かさまといった市内施設などを視察し、山口市長が代表をつとめる日台共栄首長連盟茨城県支部主催の交流会などに参加しました。

6月5日・6日には、台湾のタレント2名が台湾のテレビ番組ロケを実施し、市内各所で撮影しました。

6月30日には、花東縦谷國風景區管理處の皆さんがサイクリング関連事業の視察で来訪しました。

これからもさらに交流を図っていきます。



台湾行政院農糧署の皆さん



台湾のタレント ジョーニス 詹姆士さん (写真左) と 華苺さん (写真右)



花東縦谷國風景區管理處の皆さん

6 枝垂桜を寄贈いただきました

5/31

JR岩間駅西口近くにある多目的広場に、岩間ライオンズクラブから枝垂桜を寄贈いただきました。

4メートルもある苗は、ライオンズクラブの皆さんが実際に植樹しました。立派に成長して春に満開の花を咲かせるのが楽しみです。

寄贈いただき、ありがとうございます。



ライオンズクラブの皆さんと寄贈された桜

11 災害時における行政と 業界団体との連携

6/22・6/30

地震や洪水などの災害が発生した場合に、速やかに被災者などへの法律相談を実施できるように「災害時における法律相談業務に関する協定」を、茨城県弁護士会と6月30日に締結しました。

大規模災害により被害を受けた市民や事業所は、さまざまな法律に関する相談や支援が必要になることが想定され、この協定を締結することで、災害の際にスムーズな法律相談体制が構築できるようになります。

また、災害時の認定調査を速やかに受けられるよう、「災害時における住家被害認定調査に関する協定」を、茨城土地家屋調査士会と6月22日に締結しました。

市は、これからも災害時に備えて各業界団体と連携していきます。



(左から) 山口市長、茨城県弁護士会 望月直美会長

12 市の事業への支援に

7/3

茨城県瓦工事業組合から12万円の寄附をいただきました。同組合からは毎年寄附をいただいております。市長から「いつもありがとうございます」とお礼の言葉がありました。いただいた寄附は、市の事業に活用させていただきます。変わらぬご支援に感謝します。



(左から) 茨城県瓦工事業組合 勝倉副理事長、鬼澤理事長、
山口市長、事務局 森田さん、布施副理事長

9 市の発展を願って

6/19

笠間の陶炎祭(4月29日～5月5日開催)で行われた野点(抹茶碗展)の出展者と笠間の陶炎祭実行委員会の皆さんから、市の発展のために売上金の一部の20万円を寄附いただきました。

抹茶碗展は、陶炎祭の出店作家が制作した抹茶碗を展示し、展示作品の中から来場者が好きなお茶碗を選んでお抹茶を楽しむイベントで、新型コロナウイルスの影響もあり、今回は3年ぶりの開催となりました。

温かいご支援に感謝します。



(左から) 野点(抹茶碗展) 出展者の南秀利さん、大塩君江さん、
山口市長、笠間焼協同組合 磯部幸克副理事長

10 英語教育用AIロボットを 寄贈いただきました

6/20

市の児童の英語教育のために、学校法人タイケン学園 日本ウェルネススポーツ大学からAI(人工知能)搭載の英会話ロボット「チャーピー」66台を寄贈いただきました。

このAIロボットにより、おしゃべり感覚で英会話の楽しさを知り、英語に対する意欲を高めることができます。

市内すべての小学校・義務教育学校に配置させていただき、子どもたちの英語教育用として有効活用させていただきます。ご支援ありがとうございます。



(左から) 山口市長、学校法人タイケン学園 柴岡三千夫理事長
(手に持っているのが「チャーピー」)